

令和2年 第7回委員会会議録

1 開催年月日 令和2年4月6日（月）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時16分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長

6 傍聴者 なし

7 議 題

(1) 報告事項

令和元年度明るい選挙出前授業の実施状況について

(2) その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和2年4月20日（月）午前10時30分

・令和2年5月7日（木）午前10時30分

・令和2年5月22日（金）午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

(1) 報告事項

報告事項について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ 東区及び中央区では小学校の出前授業は実施されていないのか。

▲ 各学校宛に案内を送付しており，昨年度については申込みがなかったが，令和2年度については，現時点で，東区4校，中央区1校から申込みがあつている。

○ 特別支援学校では，どのような内容の授業をしているのか。

▲ 高校での出前授業の内容を少しわかりやすくしている。また，介助が必要な生徒の場合は，先生に介助をお願いしたり，車椅子を使用する場合は，座ってできる投票記載台を使用したりしている。

○ 出前授業のテーマについては，「学校を作ろう議員選挙」のような現実的なテーマが良いと思う。政治とは，簡単に言えば，税金をどう使うかを定めることであるので，イベント的な内容ではなく，現実的なものが良いと思う。

○ 学校で行う主権者教育においては、社会人として必要なことを学習する必要があると思う。例えば、沖縄では社会保険や年金制度について、社会保険労務士を外部講師として招いて行っているところもあるようである。

▲ 福岡市の場合でも、社会人を招き実施している学校もあるが、基本的には各学校長の判断で行われていると聞いている。

○ 他都市では、政治家を招いて行っている学校もあると聞いている。

○ 学校教育は学力を中心に考えがちだが、生きていくために必要な力をつけることができるよう、主権者教育についてもっと考えるべきである。

○ 仕事を疑似体験できる「キッザニア」の人気は高いようであるが、このような疑似体験できる機会は有効だと思う。また、京都市では、学校跡地で職業体験を行っていると聞いている、社会に出て役立つように、教育委員会には主権者教育の内容をよく考えてほしい。

○ 平成28年の参議院議員通常選挙は、初の18歳選挙で、様々なキャンペーンの効果もあり、10代の投票率が高かったが、一過性に終わってしまったところもある。

出前授業のテーマについては、若者世代が投票にいかないから若者に対する施策が行われなくなる、といった世代間の違いを強調するような内容はよくない。実施の政党の公約やマニフェストを使用するなど、現実に即したやり方を考えても良いと思う。

○ まずは、出前授業について、学校宛の案内文書をより説得力のある内容に変えるとか、模擬投票のやり方を工夫するといった、出来るところから始めていくことが良いと思う。

(2) その他

・ 次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

・ 5月に開催を予定していた指定都市選挙管理委員会連合会通常会議の開催中止について説明を行った。